

---

# 区民ワークショップ実施報告

- (1)実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- (2)結果概要・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- (3)グループワーク発表・成果・・・・・・・・P4～20
- (4)オンライン傍聴者からのご意見・・・・・・・・P21
- (5)参加者アンケート結果・・・・・・・・P22～23

# (1)実施概要

令和6年度からの次期スポーツ推進計画の策定に向けて、区民ワークショップを開催しました。  
ワークショップでは世田谷らしいスポーツの取組み(する・みる・ささえる)をテーマに、グループに分かれて議論・発表していただきました。

## ワークショップの実施概要

開催回	日時・場所	参加人数・傍聴人数
第1回	5月11日(木)18:30-20:40 教育総合センター研修室	16名(4グループ)・傍聴4名
第2回	5月13日(土)14:00-16:10 教育総合センター研修室	10名(2グループ)・傍聴2名

## ワークショップの内容・スケジュール

内容	時間
開会・資料説明・ガイダンス	15分
自己紹介・役割分担	5分
ワークショップ①世田谷区のスポーツの特色と課題	25分
ワークショップ②世田谷区らしいスポーツの取組み	30分
休憩	10分
発表・質疑応答	40分
講評・閉会	5分

## (2) 結果概要

テーマ	特色・課題	世田谷区らしい取組み
スポーツの普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウォーキングやランニングに適した環境が整っている</li> <li>● スポーツイベントが盛ん</li> <li>● 若年層向けプログラムが少ない</li> <li>● 親しめるスポーツを知る機会がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ニュースポーツに親しんでもらう</li> <li>● モチベーションにつながる健康ポイント・スポーツ実施ポイントなどアプリ導入・活用(施設予約時など)</li> <li>● スポーツ施設がなくてもできるスポーツを普及させる</li> </ul>
共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボッチャが盛ん</li> <li>● 障害者が参加できる機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 障害者・外国人が集まるイベント</li> <li>● ユニバーサルデザインの施設整備</li> <li>● ボッチャのさらなる普及</li> </ul>
施設整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園・緑地が多い</li> <li>● 大学施設が多い(特に体育系)</li> <li>● スポーツ施設が人口に対して少ない</li> <li>● 施設が有効に活用されていない</li> <li>● アクセスが良くない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園・施設を使いやすくする</li> <li>● 施設を有効活用する(特に大学や学校施設の区民開放)</li> <li>● 夜間利用可能とする</li> <li>● コミュニティバスの導入</li> <li>● ボッチャコート・バスケットボール・ランニング環境の整備</li> </ul>
コミュニティ形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際色豊か、安心できる住環境がある</li> <li>● スポーツ後の憩い・集いの場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クラブハウスなど憩い・集いの場をつくる</li> <li>● 総合型地域スポーツクラブによる人材育成</li> <li>● 地区で誰もが楽しめるイベントの開催</li> </ul>
プロ選手・チームとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロ/OBアスリートが多数在住している</li> <li>● 活動場所が限られている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世田谷区クラブチームを作る</li> <li>● アスリート、OB等と連携し、講演やイベントを実施</li> <li>● 観戦機会の創出</li> </ul>
人材・組織の育成・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指導者の不足</li> <li>● ボランティアの不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人材活用の仕組みが必要である</li> <li>● 活動団体の連携強化・開かれた組織にする</li> <li>● イベント体験によるスポーツ参画促進</li> <li>● スポーツボランティア養成講座やイベントへの参加促進</li> </ul>
民間サービス活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政のサービスだけに頼るには限界がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間スポーツ産業との連携</li> <li>● 施設サービスの充実</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報提供が不十分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若年層に伝わる情報提供・媒体が必要</li> <li>● 区民のスポーツ実施の実態分析が必要</li> <li>● 情報発信の強化</li> </ul>

### (3)グループワーク発表・成果

#### 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ①発表

- 世田谷の強みとしては、公園・緑が多い、それから人が多い、これは強みだと思います。それから学校施設が非常にたくさんある、これも強みだと思います。ただそれらを結びつけるものがないというのが課題なのだと思います。
- 人をうまく活かしていないとか、学校施設をうまく活用できていないとか、公園はあるけれどももっと利用しやすい仕組みを作ってほしいとか、そういう繋げるものが不足しているのではないかなということ、今後これから区に考えていただきたいとか、私たちが協力できたらいいなということをもとめています。
- 人に関して言うと、人材を活用するためのシステムというのは必要であろうという風に思います。それから意識を高めるという意味で人材をもっと利用していく必要があると考えます。今までも、高い競技力を持った選手がスポーツ振興財団のイベントに参加してくれたり、かなり協力してくださっていますけれども、まだまだそれが区民全体に広がっていないのもあって、そういうのも人材の活用の中に入れてもいいのではないかなとまとめてみました。
- 人材活用とか受け入れとか、それらをPRするものが限られているのではないかなと。新聞の折り込みに入れていただいているとはいえ、今の若い人たちの世代を見ると、新聞の定期購読をしている家庭が非常に少なくなっている。じゃあ、せつかく新聞の折り込みに入れても、それは伝わっていないのではないかな。あるいは世田谷区スポーツ振興財団のPR誌がありますが、皆さんは手に取って見ているのでしょうか。多分見られていないと思います。そういうPRの仕方をもっと工夫していく必要があるのではないかなということ。
- それから施設整備のほうも、先ほど学校施設がたくさんあるにも関わらず、使われていない。小中学校の学校開放はしていますが、施設の数に対してニーズや利用者数が非常に多いです。ですから施設が使えなくなり、使えなくなった結果、解散するグループもあるそうです。
- イベントに対する意識は非常に高まっているものの、イベントを開催する場所がない。総合運動場の施設、駒沢公園の施設などは積極的に貸してもらえないとか、施設の問題は大きいと思います。
- 有名なプロスポーツ選手とか競技力の高いスポーツ選手が活動をする試合などに使える場所が限られているということも大きな理由の一つになるのではないかなと思います。
- 連携面では学校と、整備面では今後使っていけるものを作ること、今あるものを計画的に活用できるような仕組みを作ってほしいということ。
- 公園で遊びなさいと子どもたちに言ってもボールで遊べないという問題がでてくる。
- 資源については、公園、緑がありますが、もっと計画的に使いやすく整備する必要があるのではないかなという意見もでてきました。

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ①特色・課題

## 人材活用

スポーツが盛んというイメージがない

有名なスポーツチームがない

人材活用が不十分

## 場の不足

施設はあるが利用しにくい

体育館がとりにくい

スポーツの講演等を行いたいが、大きい会場がない

あそび場の開放はあるが参加者が少ない

大きな運動場がない

競技スポーツを目指す人は多い  
運動が苦手な人の参加する場が少ない

公園でスポーツ(ボール遊び)ができない

施設が不足している

## 番外

道路が狭い

交通量が多い

勉強、習い事で忙しい

## スポーツ体験

スポーツイベントが多い

スポーツに触れる機会が多い

ボッチャが盛んになってきた

世田谷区の皆さんのスポーツ意識高い

## 学校施設

人口(住宅)が多い

大学が多い

体育の大学が多い

学校が多くある

体育大学がある

学校が多い

学校が多い

## 緑が多い

公園がある

公園が多い

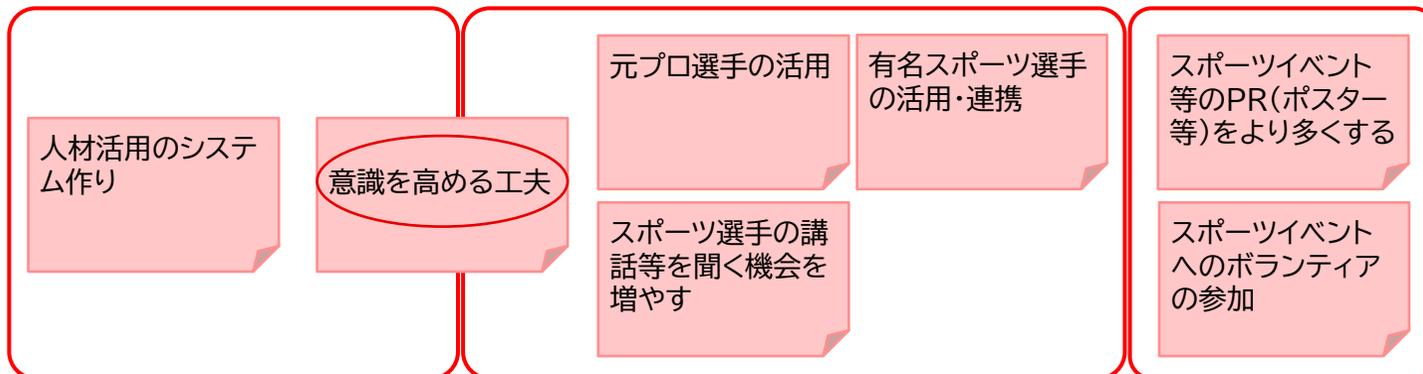
緑が多い

緑道が多い

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ①取組

## 人材活用

## スポーツにふれるためのPR



## 施設整備

### 連携

学校遊び場開放の場を利用してイベントを行う

学校との連携をはかる定期的なスポーツの場

学校施設をもっと区民へ開放する

区と大学が連携して施設を提供する

### 整備

計画的な施設整備

新しくつくる施設(用賀)を利用しやすくする

障害者も利用できる施設に改修

公園課との連携を図る

大きな公園をつくる

### 活用

今ある施設を使いやすく！！

大学施設を利用させてもらう

公園でのボール遊びを可能にする(時間限定でも)

公園でボールあそびができるようにする！！

## 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ②発表

- 特色として、アクセスの手段として色々な交通手段がある、広い公園が多い、充実した施設がある、ジュニアアカデミー&カレッジがある、イベントの開催が盛んである等の意見が挙がりました。
- 課題として挙げたのは、アクセスが不便な部分がある(徒歩や自転車で行けない、バスも乗り継ぎが必要)、人口に対して施設が少ない、高齢者向けのプログラムに対して20~30代向けのプログラムが少ない、人が集う場所や機会が少ない等です。例えば、スポーツ後にチームのメンバーでお茶や話をする場所だったり機会だったりが少ないという意見が挙がりました。
- アクセスについてはスポーツ施設を結ぶバスを運行する、コミュニティバスを導入する、徒歩や自転車で行ける範囲にスポーツ施設を作る等することで、行きやすくなるのではと考えました。
- 充実した空間については、先ほどの課題として挙げた集う場所や機会が少ないという観点から、グラウンドにクラブハウスや更衣室を設置するほかに、大学のスポーツ施設をもう少し活用することができればいいのかなと思いました。
- コミュニケーションの部分では、スポーツ指導者を増やしていくことと、スポーツ指導者のコミュニケーション能力を向上させること、スポーツが真ん中にある豊かなコミュニティをつくっていけるとよいのではと思いました。
- “人”の発信としては、「どのようなスポーツをやっているか」「区内のスポーツの状況」等を発信していくことによって、区民の皆さんがスポーツに興味をもって実施してくれるといいなと思いました。
- スポーツへの熱い思いとしては、サッカー、野球、バスケ、ラグビー等の世田谷区のクラブチームを作ることで、一致団結してスポーツの応援ができるのではないかとこののと、スポーツ施設にも関わってくるのですが、スポーツ施設の中にスポーツショップを入れて、スポーツをした後に道具などを購入できる流れができるとよいのではないかと考えました。
- ポイ活については、スポーツをすることにポイントをつけることによって、ポイントを貯めて何かと交換できたり、施設利用料が安くなったりということがあると、スポーツと関わる機会が増えるのではないかと考えました。

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ②特色・課題

## 人が集う場と機会

区内で充実して過ごせるライフスタイルを広める必要があるのでは??

する みる ささえる  
“かたりあう”場が必要では?

様々なところ  
様々な単位で  
様々な取り組みが行われている

他者のために取り組んでくださる方が多い(みなさんが笑顔)

## プログラムの多様性

若者(20代)向けのプログラムが少ない

ジュニアアカデミー&カレッジ

スポーツイベントが盛ん

## 施設が少ない

家の近くに施設がない

区の真ん中あたりにスポーツ施設が少ない

グラウンドにクラブハウスがない

人口に比して施設が少ない

大規模公式試合を開催できる施設がない

広い!

広い公園が多い

## アクセス

区立総合運動場へのアクセス悪い(交通の便)

区内の交通の便が悪い

色んな線(アクセス方法)がある

## 充実した施設

設備が充実している

総合運動場やプールが立派

施設利用料が手ごろ

大学  
学校施設が多い

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ②取組

## スポーツへの熱い思い

サッカーや野球、バスケ、ラグビーなどの世田谷拠点のチームを作る

スポーツショップを増やす

## コミュニケーション

スポーツ指導者を増やす

スポーツ指導者のコミュカのさらなる向上

スポーツが真ん中にある、豊かなコミュニケーションがあふれる多世代コミュニティをつくる

## 充実した空間

すべてのグラウンドにクラブハウスを！

大学、学校施設の有効活用

学校、大学施設を利用したスポーツイベントの増加

夜の時間帯に使用できる施設を増やす

せめてすべてのグラウンドに更衣室を設ける

大学のスポーツ施設を区民に開放する

スポーツをする+集まる(含む飲食)が整った施設を増やす

## アクセス

スポーツ施設を結ぶバスを運行する

スポーツコミュニティバスを走らせる

徒歩や自転車で行ける範囲にスポーツ施設をつくる

## “人”の発信

「世田谷スポーツライフ」として、区内でスポーツに関わっている方を積極的に発信、紹介する(アクティブ・スポーツ・パーソンの紹介)

## ポイ活

スポーツ実践ソフトウェア(アプリなど)の開発共有  
例:スポーツログなど

若者がスポーツ施設を利用したくなるサービス

ポイントカードを作る

ポイント制度(?)

若者向けのスポーツイベント

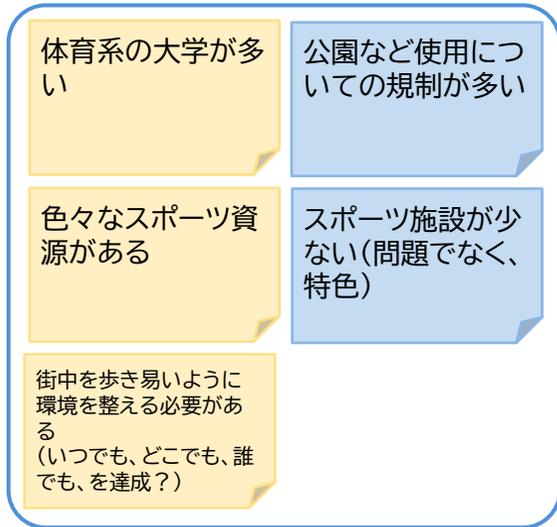
施設利用定期券、共通券を作る

## 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ③発表

- 特色や課題としてざっくり見てみると、持てる資源がいっぱいあるということが分かりました。中でも公園、大蔵運動公園というとてもよい公園があります。一方で実はスポーツ施設が少ないという点があります。これは課題と捉えられがちですが、その分、世田谷の綺麗な街並みの中を気持ちよく歩ける点はよい特色の一つではないかという意見がありました。
- 体育系の大学が多いということで、体育やスポーツを専門としている学生が多いのも世田谷区のよい特色だという意見がありました。
- それ以外に、手軽にもっと健康管理できるという点やスポーツをすることによって何か得した気分になれるというのもこれから見出せる可能性ではないかという意見がでてきました。
- 学校や総合型地域スポーツクラブについてですが、まず学校から見ていくと教員の働き方改革というのもあり、部活動の地域移行という話もでてきています。世田谷区の特色として、学校と地域の繋がりが深い、学校拠点のクラブ活動が盛んである、学校施設も充実しているという意見が挙がりました。また、世田谷区の特色を踏まえた可能性として、総合型地域スポーツクラブは、これからの部活動の地域移行の基盤、活動の場になっていこうという意見も挙がりました。
- 改善策として、世田谷区の手持てる資源を活かしていこうという取組として、企業やプロ人材など、区内リソースを有効活用するアイデアがたくさん出ました。
- 公園などがすごくたくさんあっていいのに規制が多いとか、スポーツ施設が少なく綺麗な街並みなのにちょっと段差があって歩きにくい、そういうところをまずは施設の面で見直していく、スポーツ施設をもっとアップデートしていくというようなアイデアがたくさん出てきました。
- もう一つ人材というところに目を向けてみると、世田谷区にはたくさんプロの方であったり、プロのOB・OGの方、アスリートが多くいらっしゃるの、そういう方にたくさん世田谷を盛り上げていただくというの、世田谷をもっとスポーツの面で盛り上げていける方法ではないかと。あとは企業スポーツと民間スポーツの連携というの、盛り上げていける要因かなと思います。
- 体育系大学との活動を増やしていくというの、人材で活用できるものというアイデアがでました。あとは手軽に健康管理とかスポーツでお得感を得ることにおいては、ICTを存分に活用していくということが、重要であるというアイデアが出ました。色々な地域で、世田谷でもされていると思うのですが、世田谷でウォーキングアプリやランニングアプリとか、そういうものを生かしてお得感を得るというの、スポーツに対するモチベーションを上げることができるんじゃないかなと。
- 総合型地域スポーツクラブの面では、人材をもっと育成していくという面で、世田谷が持っている様々な人材をどんどん生かしていこうというようなアイデアが出てきました。
- 学校が今持っている様々な機能というのを、もっと活用していくこと、もっと広げていくということが、重要ではないかというような意見が出ました。
- 若年層とか色々な人たちに、働きかけをどんどんしていかないといけないけれども、働きかけをできるようなものがないというのが現状の問題でもあるので、ほかのところでされている活動をいいとこどりとか、参考にさせてもらうというの、重要かなと思ったので、今ある「シブヤユナイテッド」という推進母体を参考にさせてもらいながら、最終的には世田谷がそれを超えていくということができればいいのではないかというアイデアが出ました。

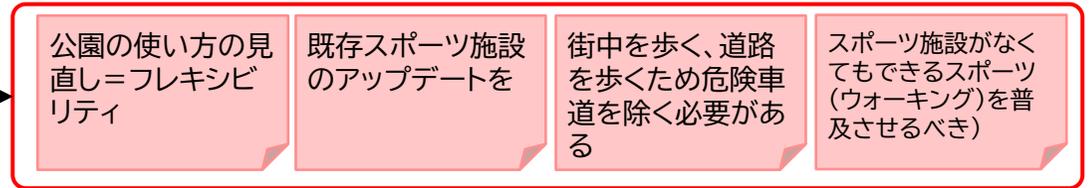
次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ③特色・課題・取組

持てる資源

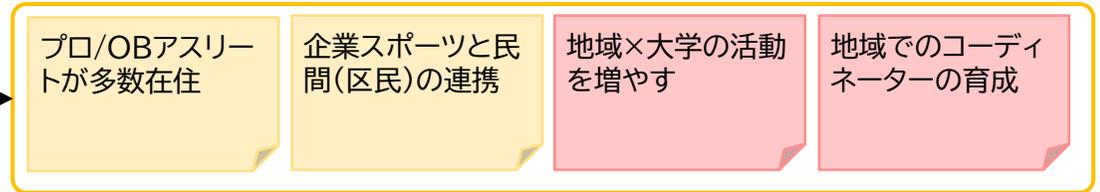


企業やプロ人材など区内リソース有効活用

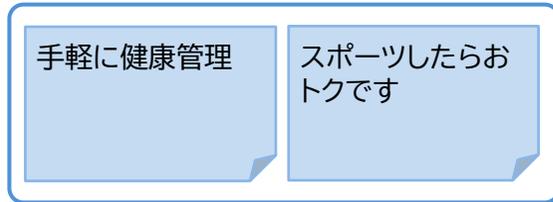
施設



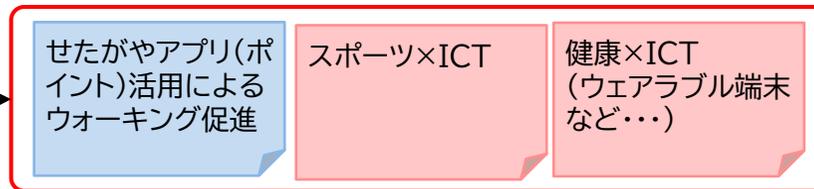
人材



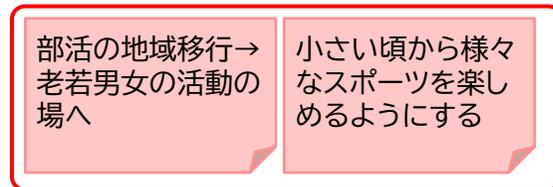
ポテンシャル 色々な可能性



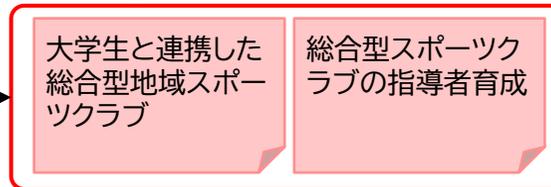
ICT



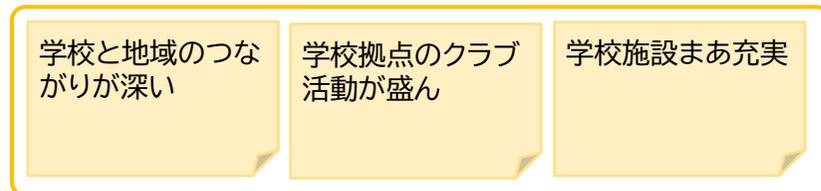
総合型地域スポーツクラブ



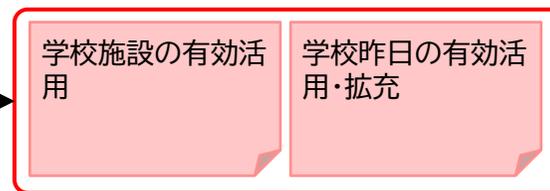
人材



充実した施設



学校機能の活用



「せたがやスポーツ」の推進母体を！超・シブヤユニテッド！

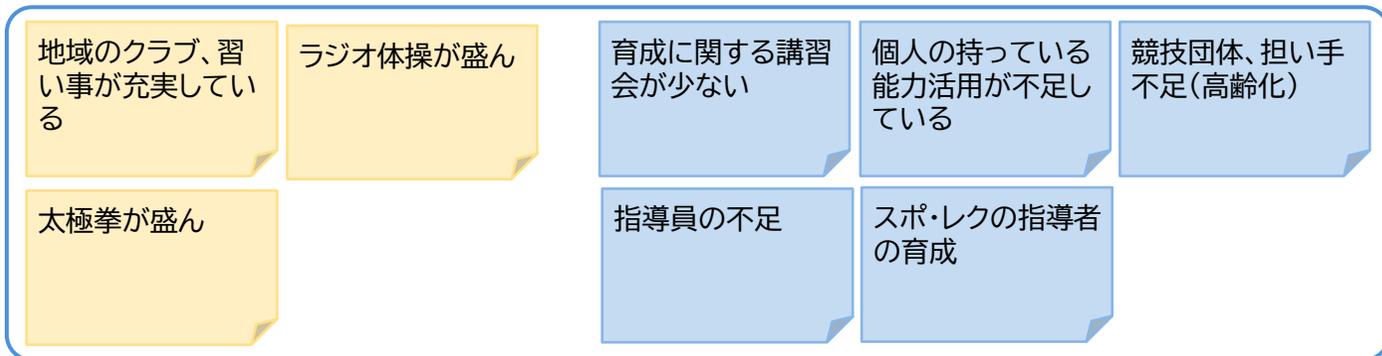
若年者など流動人口に対して適切な働きかけが無い

## 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ④発表

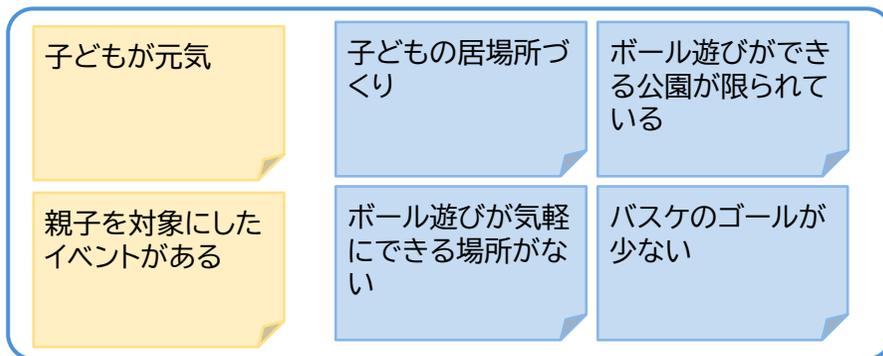
- 地域の指導者が不足しているのではないかとということで、地域のクラブや習い事は充実していて、太極拳やラジオ体操が盛んであったり世田谷区ならではのことがあったりするのですが、指導者や指導員の不足が課題ではないかということになりました。
- 環境も子供が元気であったり、高齢者が元気であったり、みんなで助け合う環境づくり、居場所づくり、ボール遊びが気軽にできる場所がないなということとか、バスケットボールのゴールが少なかったりとか、環境的には色々課題があるのではないかということが出てきました。また、施設はポッチャが盛んだったり、ジョギングする道があったり、世田谷区ならではの人口が多いのに施設が少ないのではないかと、バリアフリーの施設が不足している、視覚障害や聴覚障害の障害者が気軽に参加できるスポーツも施設もイベントも少ないのではないかなということが出ました。
- 老若男女・外国人が集まれるイベントづくり、地区ごとに特色を生かしたイベントがあるというようなことも良い面として出てきました。運動していない人が多いということなんですけれど、その中でしたくてもできない人がいるのではないかと、スポーツをしてない人が多いという事実や、どんな方がしていないのだろうということを探るようなことも必要ではないかと、という意見が出ました。
- これからの世田谷区のスポーツ・レクリエーションはどうあるべきかを中心にして、基本的な意見を作成しました。その結果、今私たちが住んでいる世田谷はどんな特徴があるか、いいところがあるか、例えば緑化、他の区と比べて公園が大きい、そういったものでまず現状把握ということが大切な一つの役割ではないかと、これは誰がスポーツしてないのかちゃんと調べるといこと、それをもとにしてこういったデータを作るということ、そして、そういったものを皆さんと話しあって情報の共有化のシステムというか、そういったものを確立していかなければならないと思います。例えば、地域クラブ・団体クラブの総会ももっと必要ではないかと、それからスポーツに関する情報発信の強化、地域でやってそれで終わるのではなくもっと皆さん知っていただけることがあるんじゃないか。
- 特に大切なのはともに世田谷区の中でこれからの世田谷のスポーツをもっと活性化するために 共生社会の実現ということで、高齢者・子供・障害者がともに楽しむイベントはどんなものがあるか、ユニバーサルデザインを基調とした施設が必要であるということも私たちは取り上げてみました。施設としてはすごいスポーツ施設を新しく作る、高齢者・子供・障害者がともに楽しめる施設を作る、施設を作るときはいろんな人が参画して、可能な限り多くの意見を取り出してまとめていくということではできないか。
- 世田谷区役所は新しく建て替えているのですが、その余白にスポーツ施設ができないのかと思います。ただ、新しくスポーツ施設を作ると経費がかかるので、例えばポッチャとか、狭いところでもできるような、そういった意味でも今後検討する必要があるのではないかと。そして民間活用ですが、新しい情報を持っている民間企業には多くの施設があるのでそれを活用する。民間サービスを利用する際の補助を行うということ、民間の今あるものを気軽に使える方法が何かあるのではないかと。
- 世田谷区民の個人の質の向上、これが大切なことだと思ひまして、取り上げてみました。常に前向き、ポジティブ、積極性の考え方の育成、最近の子供たちは鬱になるような傾向があるとも聞いております。そして、まだ団体、スポーツサークルには、古いしきたり、規則が続いている、それもスポーツ団体には決まりきった形で縦の関係が強いということも聞いておりますので、情報の共有化を含めて必要じゃないかと思っております。そして、障害者が気軽に参加できるスポーツ、よりユニバーサル化というものが必要だと思ひます。
- ポッチャというのをすごく進めていて、現状でいうと小学校61校すべての学校にポッチャが配備をされています。小さいお子さんからお年寄りまで、障害者の方も含めてポッチャをやっていただいています。先ほどポッチャのスペースを作ったらどうかという話もありましたが、この班では具体的にはストリートポッチャというのを提案をしています。ポッチャは少しのスペースですみますので、気軽にできるスペースがあつてやりたい人がそこに行けばいつでもできるという体制、自分がやりたいときにできることが大事だと思うので、走ろうとしても雨降ってるからやめようみたいなことがないよう、やりたいときにできる場所を作るというのが良いのではないかとこの話になりました。

次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第1回 5月11日) グループ④特色・課題

指導者

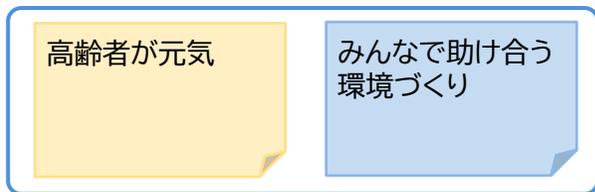


子ども

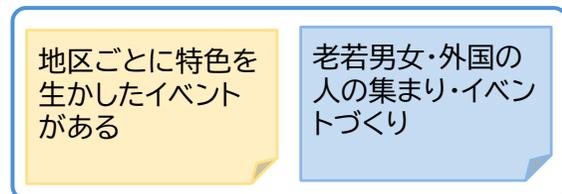


スポーツとは何ぞな？

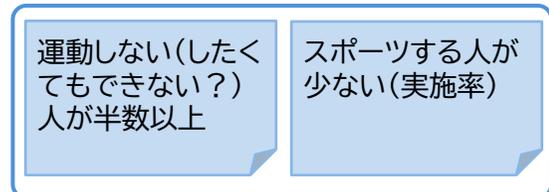
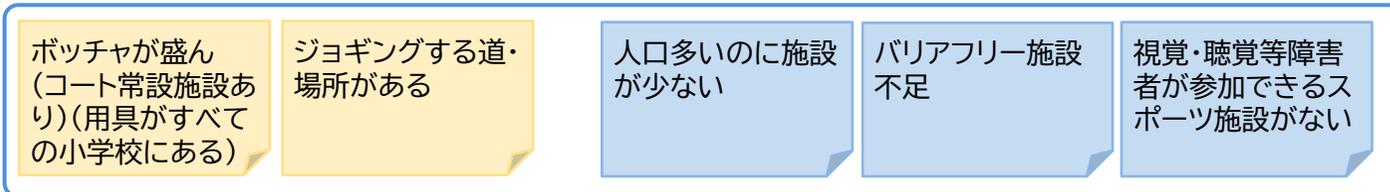
環境



イベント



施設



ともに楽しむ♪

精神的に向上

常に前向き、ポジティブ、積極性の考え方の育成(講習会など)

まだある古いシキタリ、規則の検討(特に先輩・後輩の関係)

小中学生のスポーツの考え方を保護者に理解

ユニバーサル化

障がい者が気軽に参加できるスポーツ教室

誰でも気軽に運動できる場所づくり

施設

すごいスポーツ施設を新しくつくる

施設を作るときには、いろんな人の意見を聞く

高齢者、子ども、障害者が共に楽しめる施設をつくる

共生社会の実現

高齢者、子ども、障害者がともに楽しめるイベント  
→地区で

子ども、親世代、高齢者が一緒に楽しめるイベントの実施  
→コミュニティ形成

民間活用

民間サービスを利用する際の補助をおこなう

民間の施設を活用する

経費の削減も含めて

子どもが気軽にボール遊びできる施設

「ボール遊び」に特化した施設をつくる

区役所建て替えのときにスポーツ施設を一緒につくる(複合施設)

ストリートボッチャ施設

情報の共有化

地域クラブ、団体クラブの紹介をもっと行う

スポーツに関する情報発信の強化・工夫

## 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ①発表

- 特色と課題を見ると、緑、自然が多いとか、施設、指導者・ボランティア、イベント、人、こういったカテゴリーに大きく分かれています。一見すると自然が多い、これが世田谷の特徴かなと思うんですけど、大きい公園があります。駒沢公園、砧公園、二子玉川の河川敷も一種の自然だと思うんですけど、自然がすごい豊かで緑が多いという、これが世田谷の特長かなと思うんですけど、逆に課題、健康になるためのスポーツは敷居が高いのはなぜかというところで、この施設・指導者というところが、世田谷の一般の課題ということで挙げさせていただいています。
- スポーツをするのに機会とか体験、環境の提供、そういう場所がないとそもそもできないと思います。地域総合型のクラブ、スポーツができる環境をまずは身近につくるというところ、そこがまず第一歩というところで、施設の課題が多く感じられるという印象がありました。施設がないので、指導者とボランティアもそれに付随して、そもそも指導する経験とか体験とかがないということにつながってくるのかなと感じました。また、新しいスポーツに対する指導者やプログラムが少ないので、仕掛けとしてイベントを増やそうとしても、そういうところに参加してくれるボランティアも少ない、新しいスポーツを知る機会とか体験とかがない、結果的に指導者やボランティアが足りていない、という状況に陥るのかなというところになります。
- この施設や指導者・ボランティア、こういったスポーツを身近に感じてもらうための敷居をどうやったら低くすればいいのかというところを大きく5つのカテゴリー、自然、施設、指導者・ボランティア、イベント、コミュニティとしています。
- わかりやすくスポーツをする環境・機会を増やすというところで、施設を増やす、同時に学校とかトラックとか陸上競技場とか。海外ですと、陸上競技場とかは、一般開放というか誰でも入れるようになっていたりするんですけど、ちょっと閉鎖的というかお金を払ってでないといけないというところがあつたりするので、施設、スポーツができる環境をまずは作る、構築するというところ、車いすの方や障害者の方もバリアフリーで使えるような体育館とかをもっと増やす、中学校は世田谷に多くあるのですが、一般開放されていないので、そういった機会、施設の使い方の工夫が必要だと思います。
- イベントの機会やスポーツに触れる体験ができる場所が少ないのかなというところで、イベントを増やそうと考えました。キーワードとして、無料でそういうイベントを作る。どうしても料金が発生してしまうとなかなか踏み込みづらい、まずは新しいスポーツに触れてもらう、eスポーツも、まずは無料にして体験してもらう。結果的に市民グループの雰囲気とか、グループ同士の結合ですね、そこで人と人がつながって、スポーツが生み出す価値、新しい出会いにもつながり、結果的にスポーツが継続的に続けてくれるということにつながるのかなと思いました。
- ボランティア、スポーツを体験して興味関心が出ると、自然とそのスポーツに携わりたいとか、具体的な例でいうと東京マラソンの事例とかもありますけど、マラソンに自分が携わりたいとか、オリンピックもそういうボランティアの方が携わりたいということで、すごく多く募集があったと思うんですけど、スポーツを実際自分が体験することによって自分から自己発信で体験したいという気持ちとか感情とかがわいてくるのかなと、スポーツをする敷居を下げる関連施設を増やすとか、そういうイベント体験機会を増やす案が出ました。

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ①特色・課題

## 自然が多い

走りたくなる環境	都心から近い	大きな公園がある 駒沢、砦など
走る環境が東京で一番整っている	世田谷区は広いので、様々な年齢層の方が公園にいる	静かで住みやすく都心までのアクセスも良い
自然が多い	大きい公園がある(砦公園)	緑が多くウォーキングに適したコースが有る

## 指導者・ボランティア

予約 けやきシステムなどは良い!	デイサービス等での体操を取り入れている所が比較的多い?	指導者の高齢化
指導者不足特に新しいスポーツ	eSportsに対する方針、考え方、方向性が不透明	地域差(年齢層、人口)が有り、一律的な活動がしにくい
20代ぐらいのスポーツ実行者を周りで見ない(少ない)	地域総合型クラブの増加に対する行政の関わりが縦割り?	ボランティア制度などが充実されていない

## 人

富裕層
上品
若者が多い

## イベント

世田谷ハーフマラソン、地域での子ども駅伝など区、行政、地域ぐるみのイベントが多い	夕方子供の陸上教室の実施数が多い	スポーツ教室の開催が盛ん	イベント不足大会ではなく、地域イベントなど	ボッチャ世田谷カップR5年度1日だけの開催(予選なし)底上げできず残念
--	------------------	--------------	-----------------------	-------------------------------------

## その他

情報の収集はどういった所で行えば良いのか
----------------------

## 施設

新BOPなどスポーツを取り入れやすい環境がある	学校プールを利用した施設が多い	総合型地域クラブが9つある	民間スポーツクラブが多い	スポーツ施設が豊富
一般開放(無料)されている陸上競技場がない	トラックがない	障がい者スポーツ特に車イスを利用できる施設が少ない	場所不足体育館など	学校開放が少ない
道が狭い	ランニングコースはあるが、走っている人が少ない	歩道が狭い(ランニングを街中だとしづらい)		

陸上盛んな大学が多い興味関心を持ちやすい	大学が多い陸上競技
トップアスリートが身近にいる	スポーツのチームが多数陸上・サッカー・ラグビー
地元スポーツJリーグ、Bリーグなどない	

# 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ①取組

## 自然

ランニングカルチャーの普及

推奨ウォーキングコース設定

施設を自然の中につくる(バスケットゴールとか)

## 指導者・ボランティア

支えるコミュニティの増加

新BOPでのスポーツ系PPの増員

現在あるシステムの活用  
スポレクネット、ユニスポ等の周知強化

デイサービス(スポーツ(運動)導入のサポート、補助

スポーツボランティア養成講座

指導者育成プログラムと資格制度

公園でのスポーツ指導者等の導入

スポレクネットの登録充実

大学スポーツと地域での指導

## 施設

学校、トラックの開放

学校新校舎建築の際の総合型前提とした建築の積極化

走る人を増やす→施設をつかわない

運動できるスペース、場所の確保(高架下の利用)

車イス利用できる体育館の増加

民間との連携

施設の充実  
統廃合学校の積極的利用

施設を増やす

大学や学校施設の開放

既存施設の有効活用

## イベント

実は知らない所でイベントがあったりするので、情報回りをよくする仕組みを作る

イベントをアスリートを変えて開催する→アスリートにあこがれる(指導者を目指す)

市民グループ(チーム)コラボ

ボランティア(応援したい人)も増える

カジュアルに私服でスポーツに参加・実施できるようにする

ランニングイベントの定期開催

## コミュニティ

細分化されている高齢者クラブ、地域サークルなどがグループで活動できるイベントの開催

総合型の情報連携クラブ間交流

グループ同士が結合

地域イベント  
町内会運動会など

スポーツのコミュニティを増やす

総合型クラブの新設

## 見る

プロスポーツチームの誘致  
サポーター制度の当面のサポート

観戦機会創出  
イベント実施

誘致  
例)全米代表陸上

地域密着スポーツクラブを支援する呼びかけ

## 次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ②発表

- 4カテゴリとしまして、スポーツ施設、地域、イベント、学校という主な4つのくくりを整理させていただきました。まず特色ですが、スポーツ施設は世田谷区内あちこちにあって、施設の貸し出しも充実していたり、二子緑地や馬事公苑、駒沢公園など施設は多くあると感じています。また、馬事公苑もそうですし、オリンピックのアメリカの選手村になったりと、スポーツ施設という点では充実しているのかなと思います。続いて地域面の特色ですが、オリンピックの時にアメリカ選手村になったりと国際色が豊かであることが挙げられます。世田谷といえば芸能人が多いとか、財界人が多い、スポーツ界の方が多くとか、著名人の方が多く、一般市民の方からすると静かな環境だったり住みやすいとか、世田谷区といえば住環境というところで、安心してというところが強いイメージかと思っています。さらにスポーツの環境でいいますと、スポーツを応援していたり、世田谷区すべての小学校にママさんバレーがあったり、地域活動がたくさん応援されているというのも特色なのかなと思っています。住環境でいうと、観光とかグルメとか、スポーツ+αというキーワードがどの地域でも充実している点もいいところなのかなという話がありました。
- イベントですが、イベント参加者も多いですし、世田谷246ハーフマラソンのように世田谷を代表するようなイベントがあったり、イベントの数は地域も含めて多いのかなと思っています。ポッチャというスポーツも世田谷区が力を入れて取り組まれています、ポッチャの町というイメージが強くなって、たくさんのイベントが開催されるようになってきていると思います。
- 世田谷といえばスポーツ、日体大、国土館、日本女子体育大学、駒沢大学、挙げればきりがありませんが、スポーツを一生懸命取り組んでいる学校がたくさんあって、そこでの連携も今後期待できるのかなというところも、特色として考えられると思います。学校の開放ですとか、学校が総合型に協力的であるとかというところも特色なのかなと思います。
- 特色に合わせて課題ですが、施設が多いといいましたが、人口の割には施設は少ないかなと、住環境がいいところの裏返しかもしれないですが、ナイター設備があまりないのかなというイメージです。
- イベントが多いとか、世田谷246ハーフマラソンの知名度は高いと思いますが、地域のイベントなどでいうと、まだ広報活動がまだまだで知名度が低いのかなというところです。
- 学校でいいますと、さらに連携ですとか、学校の開放とか子供がどういう風に来ているのかとか、課題感としてはあるのかなと思います。
- 世田谷区はサラリーマンが働きすぎないイメージがあって、働いているからスポーツに取り組む時間が少ないなと感じます。区もポッチャも力を入れていますが、その分ほかのニュースポーツは取り組みが薄いのかなと、それが成人のスポーツ実施率が低いことにつながっているのかなと感じました。
- 障害者スポーツの参加者がもっと充実してくれば、といったところが挙がっていました。
- 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」というところで、そこに健康・生きがい・共生・地域ということで、どうやって課題感を解決していけるのかを、4つの柱でまとめております。まず施設でいいますと、先ほど申し上げたように夜間に利用できるということが、施設の利用の分散化につながるという面はあると思いますので、そういった施設の利活用というのは今一度考えないといけないのかなと思います。また、世田谷区と企業とでコラボしたり、育成の施設を作ったり施設の中身を充実させていく、インフラの充実、予約方法や使い方にもよりますが、それが充実してくれば、公共的な施設・取り組みになるかと思っています。
- 地域でいうと何をやっているか、横の連携を強くする、イベントでいいますと、SNSとか世田谷出身のタレントの方を起用したり、各団体からとか外国人向けのPRを増やすといいと思います。ただ、高齢者の方でSNSはちょっとという方もいらっしゃると思いますので、幅広い世代で考えると掲示板とか、それ以外のPRも必要かなと思います。
- 各ニュースポーツで大会とか目標ができれば試合のために練習しようとなると思いますので、世田谷区ってすごい大会の数あるよね、などとなると、モチベーションも上がるかなと。独自のスポーツイベントを作るというのは、朝一駅歩いたらポイントがたまり、ポイントがたまる施設がとりやすくなりますとか、なればいいなと。そうすると、私もサラリーマンですが、朝一駅歩いてポイントがたまり、子供がグラウンドをとりたいたから、毎朝歩いてポイントためて施設とりやすくしてね、みたいなことになると、スポーツにも健康にも家族にも貢献できて複合的になったらいいと思いました。

次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ②特色・課題

スポーツ施設

スポーツ施設が各地にある

馬術と触れ合える

人口の割にはスポーツできる場所が少ない

施設の貸し出しが充実している

ナイター設備がない

二子緑地がある

スポーツ施設が人口に対して少ない

イベント

イベントの参加人数が多い

スポーツイベントが多い

指導者の高齢化

誰でも参加できる地域イベントが多い

イベント講師の声掛け等しやすい

地域差(年齢層、人口)が有り、一律的な活動がしにくい

ボッチャの街

地域のイベントの知名度が低い

ボランティア制度などが充実されていない

都心からアクセスが良い

子供の人口が増えている

地域

アメリカ選手村になったり国際色豊かである

人口が多いのでスポーツの土台をつくれれば相乗効果が早い

静かな環境(集中しやすい)

スポーツ界、財界、芸能界等、有識者も多い

地域にまとまりがある  
地域活動が盛ん

世田谷区すべての小学校にママさんバレーがある

地域の活動を応援している

スポーツした後に観光やグルメを楽しめる

働きすぎでサラリーマンのスポーツイメージがない

成人のスポーツ実施率が平均より低い

ニュースポーツへの取り組みが弱い

障がい者のスポーツ参加の機会やサービスが整っていない

学校

日体大がある

私立などの学校が多い

連携の強化(指導の機会を増やす)

学校開放を使える

国土館大学  
日本女子体育大学

学校開放が子どものニーズに合っているか?

学校が協力的(総合型)

次期スポーツ推進計画の策定に向けた区民ワークショップ(第2回 5月13日) グループ②取組

施設

世田谷にある企業とのコラボ	企業と組んだ育成施設の設置
冬スポーツ施設の予約方法の周知	インフラの整備
夜間使用のできる施設の設置	学校施設開放
施設使用の分散化(夜間に使えるetc)	施設の夜間利用

イベントの広報

区の広報の掲示板を増やす	どのようなものが行われているか知る	他の区との連携イベントや学ぶ機会を	イベント等の広報にSNS等の利用	外国語観光客向けに英語で広報活動
イベントの周知にSNSを活用	イベントの告知の充実	メディアやSNSアンバサダー 世田谷区出身のタレント起用	各団体からのPR発信を促す	障がい者の通所施設、介護施設、特別支援学校等へのきめ細やかな周知

新イベント

区民大会創設	独自のスポーツイベントを作る	親子で参加できるイベント、教室の充実
--------	----------------	--------------------

地域

地域スポーツ絵巻(ここに住んだら...)を作る	地域、学校の連携強化
総合型の充実	学校や町内会横のつながり連携強化する

障がい者理解の促進	指導者人材の育成登録システムの充実	自分がどの程度の運動をしているか知る(健康診断結果比較)	学校でマイナー(ニュー)スポーツを学ぶ機会をつくる
-----------	-------------------	------------------------------	---------------------------

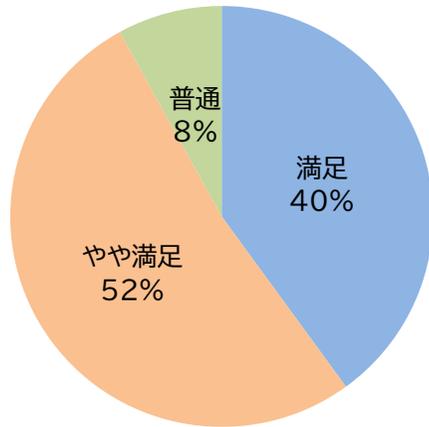
## (4)オンライン傍聴者からのご意見

- 施設に関する意見が多くありましたが、新しいものを建てるよりも、今あるものを活かした整備・イベント等の実施が現実的かと思います。それにより、スポーツやランニングに親しみやすくなり、区民の健康増進にもつながると思います。
- 世田谷の特色は緑や公園が多いという意見がありました。ウォーキングやランニングは気軽にできるスポーツで、ランニングコースの整備(コース表示や案内板)が、スポーツ実施率向上に繋がると思います。また、街を走る人が増えると泥棒や強盗などの犯罪が起きづらい安全な街になると思います。
- 世田谷ハーフマラソン以外にも身近にチャレンジ・目標にできる、様々な人を対象とした大蔵陸上競技場での定期的なイベント大会が開催されるとよい。
- スポーツ(世田谷だとランニングが強み?)が盛んな都市と認知され多くの人々が走る・訪れることで、それに合わせたモーニングカルチャーが生まれ、それに合わせたビジネス(カフェなど)も集まってくる。経済効果にも波及すると思います。
- 世田谷にはトップ選手が多くいるとの意見も出ていました。大蔵運動場をはじめスポーツの拠点となる場所を、地域の方が集まってくる場所にし、地域の方々と競技・アスリートを身近なものに。
- 区内のスポーツ施設を活かしたイベントを今後も同様に開催してほしい。
- スポーツ初心者も参加しやすいよう、初心者限定のイベント等があると、気負いすることなく参加できると思う。
- 有料でもグループでスポーツを指導してもらえる機会があれば需要は多いと思う。

# (5)参加者アンケート結果

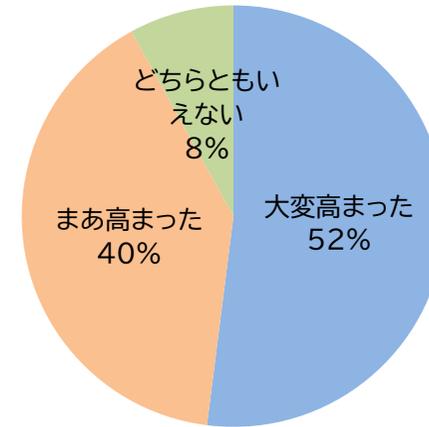
## ワークショップの満足度

(n=25)



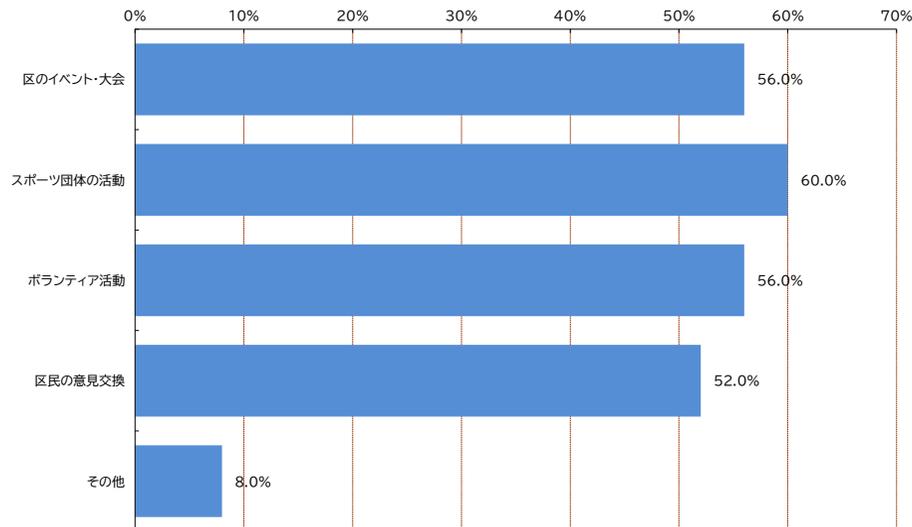
## 区スポーツ行政への関心の高まり

(n=25)



## 参加したい・関心のあるスポーツ推進の取組

(n=25)



## (5)参加者アンケート結果

- ワークショップの内容について
  - ・ スポーツ推進への取り組みについて触れたのは初めてだったのでとても勉強になりました。
  - ・ ワークショップを通して特色課題に対して話ができ良いアイデアを考える時間ができて良かったです。
  - ・ スポーツは身近にもっと置かれているといいなと思いました。
  - ・ ふだんの世田谷スポーツを振り返るというスタンスはすごくよかったです！（あんまり改めて考えないので）
  - ・ スポーツの課題は見えてきたと思う。ただ、スポーツとは、スポーツを通して何を得るか等、議論が不十分であるように感じた。
  - ・ 区の課題、問題点が見えにくい、課題の原因もわかりにくい、課題が分かるともう少し集中した議論ができるように感じる。
- 参加者の幅広さ・意識について
  - ・ 皆さんの意見が知れてよかった。
  - ・ 参加した方々の意識が高かった。
  - ・ 様々なバックグラウンドをお持ちの方とお話しさせていただき、とても勉強になりました。
  - ・ 様々な方と意見交換ができて大変勉強になりました。素敵な機会をありがとうございました。
  - ・ 同じような問題意識を持つ方が多く、一方で解決のアイデアはとても様々に出ておどろきだった。
  - ・ 大学生、聴覚障害の方まで、いろんな方が参加されて有意義な意見交換ができたと思います。
  - ・ 充実したグループワーク(WS)になったと思う。続編も是非！
  - ・ 人によって感じ方の差があることに気づいた。新しい知識もふえた。
  - ・ もっと皆さんの意見などを聴きたかった。
  - ・ 参加者がもっと多いと良いと思います
- 運営・実施時間等について
  - ・ もう少し時間が欲しかった(話し合い)
  - ・ 時間が少し短い。あと20～30分あったらと思った。
  - ・ ファシリテーターは各グループに外部からつくと思っていたので、時間が足りないかと感じました。
  - ・ もう少しディスカッションの時間が長いと良いかと思いました。
  - ・ 唯一、WSにおける時間管理(進行管理)には課題を感じた。業者が刻みすぎ、進行しようとしすぎ
  - ・ 時間が短く感じた。内容(ポイント)を工夫することでさらに意義深いものになると思う
  - ・ スタッフの方がもう少し用紙のはる作業などを手伝っていただけるとスムーズに進行できるかもしれないと感じました。
  - ・ 考えをまとめる時間が不足していた
  - ・ 時間がやや短い感じがした。もう少しまとめの内容など充実させたかった。